



INTERNATIONAL JOURNAL

(インターナショナル・ジャーナル)

2023 Summer Issue (夏号)

【四半期ごとに、環境について国際的な視点でご紹介します。】



き 伐って、使って、植えて、育てる 森林の循環利用サイクル



7割

日本は、国土の約7割を森林が占める世界有数の森林国です。一方、世界の森林面積は、農地等への転用による開発や、森林火災、違法伐採等により減少傾向にあります。

森林の多面的機能

森林は、国土保全、水源のかん養、地球温暖化防止、生物多様性保全、林産物供給等の多面的機能を有し、国民生活に様々な恩恵をもたらす「緑の社会資本」です。

4割

我が国の森林面積のうち約2割を占めるスギ人工林は、日本人の約4割に有病率があると言われており、スギ花粉症の発生源となっており、政府関係機関が対策を進めています。

健全な森林整備

花粉対策と森林資源の持続的な循環利用を両立していくためには、スギの伐採・需要拡大、花粉の少ない苗木等への植替え促進など、多様で健全な森林へ整備していくことが重要です。

(参考：農林水産省ほか)

令和5年6月22日発行 印刷物登録 令和5年度第22号

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃事業国際協力室

(Clean Authority of TOKYO, International Cooperation Department for Waste Management)

ホームページ : <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/index.html> 電話 : 03-6238-0575

【東京二十三区清掃一部事務組合は、海外のごみ問題に23区とともに取り組んでいます。】



Clean Authority of TOKYO





地球環境保全のため、様々な取組を行っています

23区の環境イベントに参加しました

『江東区環境フェア』

日時：6月4日（日）10時～16時
場所：えこっくる江東
ブース来場者：約450名



（江東区環境フェアの様子）

清掃事業国際協力室は、新江東清掃工場の職員と共同でイベントへ出展しました。海外のごみ問題や清掃工場についてのパネル展示や、清掃工場が出た不用品を再利用した子ども向け工作セットの配布を行いました。来場者からは、「コロナで清掃工場の見学に行けなかったので、工場の仕組みがわかって良かった」など、多くの方に楽しみながら学んでいただきました。



（ちよだ環境まつりの様子）

『ちよだ環境まつり』

日時：6月17日（土）10時～16時
場所：千代田区役所
ブース来場者：約600名

清掃事業国際協力室は、運営系の職員と共同でイベントへ出展しました。ごみ処理の流れや清掃工場の公害対策を紹介して、来場者からは、「最終処分場を長く使うためにごみは減量しなければならないんですね」といった感想や、リサイクルについての質問もあり、日々の生活で発生するごみについて、改めて考える機会を提供することができました。

海外諸都市の課題解決を支援しています

東京二十三区清掃一部事務組合では、廃棄物処理から生じる様々な課題を抱える海外諸都市に対し、廃棄物の適正処理に向けた技術的助言や人材育成への支援を行うなど、国際協力の推進に23区と共に取り組んでいます。

最近では、法律の改正に伴う廃棄物処理の課題解決のために訪日した韓国の自治体職員や、地方議会議員の清掃工場の視察を受け入れ、活発な意見交換を行いました。



（ソウル特別市職員の視察の様子）